

輝く女性応援事業【山梨県】

地域の実情と課題

中小企業が大多数の本県においては、自社にロールモデルとなる女性管理職や相談相手がいない場合が多く、働く女性のロールモデルとなる人材を育成を支援する必要がある。

また、少子高齢化が進み、労働人口が減っていく中、女性労働者やこれから社会に出ていく女性が妊娠、出産、子育てをしながらいきいきと活躍出来る職場環境づくりのために、その阻害要因となる3大ハラスメント等に悩む女性労働者に対するサポート体制が必要である。

事業の特徴

- ・企業における女性活躍の取り組みを促すため、企業経営者や女性社員等を対象に講演会、研修会を開催する。また、経済団体の研修会等において、県内の女性の活躍に積極的に取り組んでいる経営者等による事例紹介を行い、その企業を新聞広告等へ掲載する。
- ・働く女性に纏わる身近な問題（セクハラ、雇用問題等）について、女性弁護士等が相談に応じる。

事業の効果

- ・女性の活躍や男性の育児参画等を積極的に進めている日本を代表する企業の経営者による講演会や県内企業による事例紹介を行うことにより、企業経営者等が女性の活躍へ関心を高め、女性管理職への登用の動きを促進した。また、研修会により女性職員自身のスキルアップが図られるとともに、ロールモデルとなる人材の育成が促進された。

研修会参加者数(アウトプット) : 20人→38名

- ・平成30年度相談件数実績は38人であり、女性の働きやすい環境づくりにつながっている。

目的・目標

- ・目標（アウトカム）：管理的職業従事者(会社役員・管理的公務員等)に占める女性の割合
13.3%(H24)→20.0% (H33)
- ・研修会参加者数(アウトプット) : 20人

連携団体

- ・様々な業種の女性をメンバーとする民間の団体「働く女性のネットワーク」（事務局：日本政策金融公庫甲府支店）と連携し、講演会の周知や研修会を開催。
- ・山梨県産業労働部の働き方改革アドバイザー派遣事業に関わりある企業へ周知。
- ・法律相談事務担当者会議による情報共有、男女共同参画推進センター相談業務との連携

今後の課題

- ・管理的職業従事者(会社役員・管理的公務員等)に占める女性の割合において、13.3%(H24)→11.4%(H29)となっており引き続き持続的な支援が必要である。

事業の概要

輝く女性応援事業事業

(企業の事例紹介、人材の育成)

講演会の開催

講師：松本 晃 氏 (RIZAPグループ株式会社 取締役)
(カルビー株式会社シニアチェアマン)

日時：平成30年9月5日 14:00~16:00

参加者：200名

内容：カルビー(株)で女性の活躍を掲げ、社内に「ダイバーシティ委員会」を設置し女性管理職の積極的な登用や在宅勤務を推進。女性を管理職として登用するために責任と報酬のバランスを整え、8期連続で増収増益を達成し企業の利益に結びつけた考え方や手法を講演頂いた。



研修会の開催

講師：河野 志織氏 (一般社団法人 営業部女子課の会理事)

日時：平成30年11月15日(木)13:30-16:00

参加者：38名

内容：実際に管理職になった際に身に着けたい「マインド」と「マネジメントスキル」について体験型ワーク研修を通じて学んだ。



女性活躍拡大に向けた取組 (3回実施)

講師：株式会社YSK e-com、株式会社 はくばく、株式会社 オフィスパパドゥ

参加者：213名(合計)

内容：女性の活躍推進や男性の育児参加等に積極的に取り組んでいる県内企業の経営者等による講演会等を行い、女性の活躍推進への理解や意識改革を促進する事例紹介を実施した。また、講演いただいた企業のトップインタビューを新聞に掲載することにより県内企業の女性活躍の意識向上を図った。



(働く女性の無料法律相談)

- ・相談内容：セクハラや雇用問題、マタハラ等について女性弁護士等がアドバイス。
- ・実施時期：毎月2回 第2、第4土曜日午後1時~3時
- ・対象：県内企業で働く女性労働者など
- ・相談件数：1回あたり4件、1件あたりの所用時間30分
- ・委託先：山梨県弁護士会
- ・平成30年度利用実績：計38人